

No.	604	<h1>七宝焼</h1>			
概要	銅板の上に絵の具や飾り(フリット)を盛り付けて、卓上の電気窯で焼成し、オリジナル作品を制作する。				
内容	人数(人)	~40人	時間	2~3時間	
	対象	小1以上	時期	通年	
	場所	創作室【第1・第2】			
	指導形態	自主活動 ・ 事前の説明のみ ・ 直接指導			
安全管理	引率者と担当職員による観察・指導				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 七宝焼の技法を知り、自分なりの工夫や表現で制作することの楽しさや喜びを感じる。 ○ 互いの作品の工夫や表現を共有する。 				
準備	施設から貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝焼き 用具一式(画材含む) ・瞬間接着剤 ・研磨補正用のグラインダー ・軍手 			
	団地で準備	<ul style="list-style-type: none"> *いずれかを選んで、事前に「教材等申込書」で注文。 ○ キーホルダー(角型/丸型/小判型) 			
	確認事項	各自が異なる教材で制作したいなど、要望があれば担当者に相談。			

	内 容	留意事項
活動前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担当職員との打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいの共有 ・参加人数、グループ編成 ・安全管理 等 ○ 注文した教材の受け取り <ul style="list-style-type: none"> ・種類と個数を確認し、研修場所へ持って行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・引率者と担当職員が一緒に行く。 ・火傷への配慮をする。 ○ 教材 <ul style="list-style-type: none"> ・返品可能(特別なものを除く)。 ・教材の裏面を確認。 (下地が焼き付けられていない場合は、表面の制作前に下地絵具の焼成が必要。)
活動の説明	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員による説明 <ul style="list-style-type: none"> ・講師の紹介 ・めあて、安全上の注意 等 ○ 道具の準備 ○ 講師による説明 <ul style="list-style-type: none"> ・七宝焼の基礎知識(ルーツ、特性、技法などの紹介) ・作り方(絵手七宝/フリット七宝) ・画材と道具の取り扱い方(注意事項)について 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全上の注意 <ul style="list-style-type: none"> <火傷に注意> ・焼成した作品はよく冷めてから触る。 ・電気窯を素手で触らない。 ○ 電気窯 <ul style="list-style-type: none"> ・焼成は、講師または職員が行う。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作 *説明を聞き、いずれかの技法を選んで、制作する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> 絵手七宝 </div> <ol style="list-style-type: none"> ①下地となる絵具を盛りつける。 ②電気窯で焼く。 ③冷ます。 ④下地の上に模様を盛りつける。 ⑤電気釜で焼く。 ⑥金具に取り付けて完成。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> フリット七宝 </div> <ol style="list-style-type: none"> ①下地となる絵具を盛りつけ、その上にフリットを乗せる。 ②電気窯で焼く。 ③冷ます。 ④金具に取り付けて完成。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 片づけ、掃除 <ul style="list-style-type: none"> ・道具の返却、整頓。 ・机、床、流しの周りの掃除 ○ ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞 ・感想 ○ 研修室の点検、退室 <ul style="list-style-type: none"> ・椅子を机の上に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・絵具やフリットは、銅板からはみ出さない分量を盛る。盛りすぎ注意。 ・焼成は、通常1回まで。銅板の耐性から、絵手七宝の場合でも3回位までとする。 ○ 絵具の取り扱い方について <ul style="list-style-type: none"> ・別の色の粒子が混ざらないよう注意。 ・画材の特性上、混色不可。